

1998年(平成10年)	6月 解島幸生(染色)	12月 長村雅倫(京焼)
9月 菊地勝太郎(作陶)・前田眞里(組紐)	3月 細野利夫(無名真焼)	6月 吉川 満(ガラス)
10月 中村 二夫(作陶)・こぞん研究所	9月 藤原 敬(作陶)	10月 大野耕太郎・高津佳文(作陶)
11月 三根茂・あとりえ草創(染色)	12月 山本長久(丸谷焼)	
12月 佐藤勝久(漆器)・北山広之(木彫)		
1999年(平成11年)	2004年(平成16年)	2005年(平成17年)
1月 伊藤智子・伊藤千恵子(染織)・黒滝茂美(洋装)	10月 高津佳文(組紐)	10月 七尾佳文(作陶)
2月 尾玉清一(作陶)・高橋美香子(絵画)	11月 吉川 満(ガラス)	
4月 船山 孝(絵画)・金子直人(陶器)	2007年(平成19年)	2008年(平成20年)
5月 新林裕子(作陶)・鈴木義隆(作陶)	12月 吉川 満(ガラス)	
6月 白戸孝行(作陶)・三根茂	2008年(平成20年)	
7月 吉川 満(ガラス)・前田眞里(組紐)	11月 高津まろく	
8月 高橋久子(作陶)・高橋美香子(絵画)	7月 石原 実(染色)	
9月 菊地勝太郎(作陶)・解島幸生(染色)	2009年(平成21年)	
10月 金子直人(陶器)・あとりえ草創(染色)	8月 亀村光孝(漆物)	
11月 三根茂子(絵画)・黒滝茂美(洋装)	2010年(平成22年)	
12月 船山 孝(絵画)・サンズラ・ワールド研究会(染織)	7月 平益和雄(琉球ガラス)	
	8月 藤原 敬(作陶)	
	11月 吉川 満(ガラス)	
	12月 一心堂展示会(菓、菓)	
	2011年(平成23年)	
	5月 高橋政己(漆物)	
	8月 亀村 博(漆物)	
	2012年(平成24年)	
	4月 松田清心(絵画)	
	9月 藤原 敬(作陶)	
	10月 亀村光孝(漆物)	
	11月 福田敏雄(輪島塗)	
	12月 上原勇七(漆物)	
	2013年(平成25年)	
	4月 あとりえ草創(染色)	
	7月 水本一成(ガラス)	
	8月 阿部和加子(漆)	
	2014年(平成26年)	
	5月 こぞん研究所	
	2015年(平成27年)	
	5月 坂本 工(小籠田焼)	
	2016年(平成28年)	
	2月 本村正則(ぞうり、げた 展示会)	
	10月 船山 孝(絵画)	
	11月 青木啓作(口口口被)	
	12月 一心堂展示会(菓、菓)	
	2014年(平成26年)	
	3月 本村正則(ぞうり、げた 展示会)	
	6月 坂の端と一冊の年道具 展示会	
	5月 山本長久 宮本 隼(丸谷焼)	
	7月 朱 振南(青銅)	
	8月 栗女(華強伊豆)	
	10月 廣津雄三郎(組紐)	
	11月 船田博久・船田雄吉郎(金漆障)	
	2015年(平成27年)	
	1月 高橋久美(切り紙)	
	3月 水村 明・元則(ぞうり、げた 展示会)	
	6月 藤原 敬(漆)	
	8月 こぞん研究所	
	9月 白洲千代子(染織)	
	10月 下平清人(型絵染)	
	11月 仲田智恵志(木彫)	
	2016年(平成28年)	
	10月 本村英昭(備前焼)	
	12月 李女(単線障焼)	
	2017年(平成29年)	
	3月 藤原敏行(日本画)	
	5月 古梅園展示会(菓、菓)	
	10月 下平清人(型絵染)	
	11月 弘前こぞん研究所	
	2018年(平成30年)	
	4月 青藤社展示会(有田焼)	
	6月 下平清人(型絵染)	
	7月 川崎精一(有田焼)	
	9月 15代・辻 壽官(作陶)	

ギャラリー愛海詩・愛海詩の会に篤く御厚情を賜りました方々です。感謝の意をこめてここに御芳名を書かせていただきます。

- |        |          |
|--------|----------|
| 明野三枝子様 | 白洲 智啓様   |
| 阿部 和男様 | 外岡 洋子様   |
| 阿部和加子様 | 高木 治様    |
| 石井 一弘様 | 高木美恵子様   |
| 石田 時子様 | 高橋 春英様   |
| 伊戸 隆紀様 | 高橋 寿美様   |
| 上田くるみ様 | 高橋 美鈴様   |
| 大口 郁子様 | 谷口 裕美様   |
| 岡本 章様  | 堤田 典子様   |
| 岡本 民子様 | 富岡 直子様   |
| 奥野 久子様 | 富澤登喜恵様   |
| 葛西ひとみ様 | 富澤 絳様    |
| 笠原 静江様 | 名越 隆雄様   |
| 金山嘉恵子様 | 成田 貞治様   |
| 川瀬 明子様 | 根本 絢子様   |
| 川本 幸代様 | 疋田 裕子様   |
| 北原 本信様 | 星野 静子様   |
| 木村 雅信様 | 堀 民子様    |
| 木目澤一三様 | 本間 富雄様   |
| 木目澤順子様 | 松岡 幸代様   |
| 玖村 敦彦様 | 三河 征子様   |
| 玖村 弥生様 | 御村 光子様   |
| 栗村 玉恵様 | 宮本 洋子様   |
| 黒木 眞弓様 | 三輪 高士様   |
| 古賀恵美子様 | 森 武志様    |
| 小竹 徹哉様 | 森 祐子様    |
| 小番 阿子様 | 森居智恵子様   |
| 小林 茂代様 | 梁井 朗様    |
| 小林 聖二様 | 山口 俊明様   |
| 斉数 愛子様 | 米山千恵子様   |
| 酒谷 和恵様 | 渡辺 正郎様   |
| 坂野 玲子様 | (故人)     |
| 佐藤 末子様 | 岩崎 恵子様   |
| 佐藤 俊兼様 | 藤谷 清一様   |
| 佐藤 容子様 | 本田 茂子様   |
| 佐藤 洋子様 | 澤野 裕子様   |
| 澤野 裕子様 | (あいうえお順) |
| 渋谷佐江子様 |          |

上記の他にも127人の職人、作家の方々、短くも濃くご縁、新しいご縁をいただいた方々など紙巾がなく、掲載できませんでしたが、感謝申し上げます。

ギャラリー愛海詩・愛海詩の会20周年実行委員  
 ・田中 裕司 ・葛西ひとみ ・松原 忍  
 ・須釜 太郎 ・音喜多千佳 ・小林 里佳

ギャラリー愛海詩・愛海詩の会事務局  
 〒064-0821 札幌市中央区北1条西28丁目2番17号  
 TEL・FAX/(011)613-1112  
 20周年記念誌 編集発行人  
 WEBSITE  
 http://www.emishi-s.com  
 E-mail:kougai@emishi-s.com  
 平成30年9月7日発行  
 佐藤 睦子

20周年記念誌

ギャラリー 愛海詩 愛海詩の会



ギャラリー愛海詩・愛海詩の会事務局玄関

愛海詩の会

- 文化を育てる一翼となり、一人一人の生活が心豊かなものになるよう、各々の佳き出会いと学びを大切にします。
- 作り手の技と心を大切にしておかけ橋役になります。
- 北海道(古称・愛瀾詩)を大切にし、心を寄せます。

●●●●●ハンドToハンド、ハートToハート  
 手から手へ、心から心へ●●●●●

講演会	MO…佳い会
平成19年 6月13日 古岡幸雄「日本の色」	平成28年12月10日 徳川家広
21年 6月 8日 21年 6月 8日 21年 6月 8日	21年 6月 8日 21年 6月 8日 21年 6月 8日
22年 10月19日 船山 孝「日本の絵巻」	21年 6月 8日 21年 6月 8日 21年 6月 8日
24年 4月14日 徳川家広「経済の歴史」	21年 6月 8日 21年 6月 8日 21年 6月 8日
24年 4月15日 徳川家広「経済の歴史」	21年 6月 8日 21年 6月 8日 21年 6月 8日
25年 8月20日 徳川家広「経済の歴史」	21年 6月 8日 21年 6月 8日 21年 6月 8日
25年10月19日 徳川家広「その後の会津松平家」	21年 6月 8日 21年 6月 8日 21年 6月 8日
25年10月20日 徳川家広「日本経済の命運と再生」	21年 6月 8日 21年 6月 8日 21年 6月 8日
26年 5月24日 小柳山博「どきどき生きたらいい」	21年 6月 8日 21年 6月 8日 21年 6月 8日
27年10月11日 小橋 一樹「世界の氷点下の光」	21年 6月 8日 21年 6月 8日 21年 6月 8日
29年 8月 4日 地沼晋一郎「たえなる音楽 その光Vol.1」	21年 6月 8日 21年 6月 8日 21年 6月 8日
30年 1月13・14日 地沼晋一郎「たえなる音楽 その光Vol.2」	21年 6月 8日 21年 6月 8日 21年 6月 8日
春コスモス文化ツアー	
第1回 平成17年 アルセリアツツ美園 作陶家 大野利夫アートレジデンス	
第2回 平成18年 M.I.日コミュニケーションと京都の祭 染司よしおかの工房を訪ねる	
第3回 平成19年 瀬川渡美の「木彫」を田口清徳「武蔵野」を訪ねる	
第4回 平成19年 11月にその森の館「森の館」を訪ねる 職人・作家の心と手を訪ねる	
第5回 平成22年 染司よしおかの民芸 吉岡幸雄と行く 吉岡幸雄と行く 吉岡幸雄と行く	
第6回 平成25年 徳川家広と行く 長良川鮎川といと伊勢宮宮62 回目的「式年遷宮」の旅	

ギャラリー愛海詩・愛海詩の会20周年記念として、薩摩焼の重鎮、15代沈壽官氏の作品展をギャラリー愛海詩2Fで開催致します(札幌市中央区北1条西28丁目2-17)。下記は展示される予定の作品の14点でございます。会期は9月5日(水)～20日(日)までです。

珠玉の作品、是非ともご覧下さいませ。



1. 薩摩三種彫香炉  
(12.3 × 13cm)



2. 薩摩籠目透輝香炉  
(14.5 × 13.3cm)



3. 薩摩籠目蓋透輝香炉  
(9 × 11.2cm)



4. 黒薩摩茶器  
(12.0 × 8.0cm)



5. 薩摩太白茶盤  
(12.5 × 6.5cm)



6. 薩摩盛金金竹茶器  
(10.8 × 7.8cm)



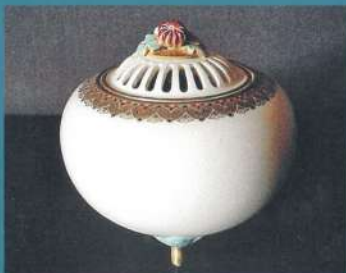
7. 黒薩摩茶器  
(14.2 × 6.7cm)



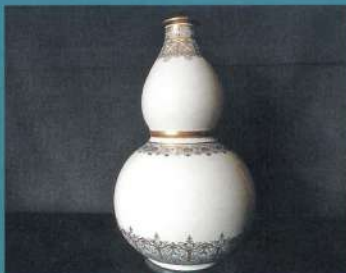
8. 薩摩牡丹花瓶  
(19 × 28cm)



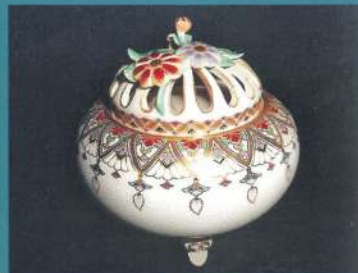
9. 右 薩摩蛸水滴 (8×10×6cm)  
中央 薩摩蛸水滴 左 薩摩蛸水滴



10. 薩摩香炉  
(10.5 × 10.7cm)



11. 薩摩瓢花瓶  
(18.4 × 30.5cm)



12. 薩摩香炉  
(8 × 8.5cm)

20周年によせて...



徳川宗家19代・徳川家広氏

初めて愛海詩と関わったのは、もう十五年も前のことになるだろうか。共通の友人を介して、愛海詩主人の佐藤睦子さんから工芸品の買い付けの手伝いを依頼されたことがきっかけだった。おかげで私は、入手した品々を抱えて、生まれ初めて札幌を訪れることとなった。佐藤さんから美味しいお蕎麦とお寿司をご馳走になったことを、よく覚えている。

空いた時間を、私はただあてもなく街をうろついて過ごした。私はトラベルガイドの類を読まないで、何もかもが行き当たりばつたりだった。飛び込んだお店でたらふくお寿司をいただき、公園を背にした素敵な喫茶店で美味しいコーヒーを飲み、といったことも大事だったが、六月とは思えないほど空気が爽やかで快適だったことにこそ、驚かされた。

そう。私はまず、札幌の空気(雰囲気)という意味ではなく、文字通りの、呼吸する気体の空気である)に惚れ込んだのだ。そして空気に惹かれ、愛海詩に誘われて何度となく訪れるうちに、私の思い込みかもしれないが、札幌の素晴らしさも、さらにはその欠点も、ぼんやりではあるが、理解できるようになって来た。何が可能で、その可能性が開花しないのは何が不足しているからなのか。自分の限られた知見にもとづいて、随分と考えたものである。今では一応、答えのようなものも見えて来た。

私の、そのような思考のきっかけとなった愛海詩も今年で二十歳だという。生まれた赤子が成人するまでの時間が経過したのだ。その歴史の中の少なからぬ部分を共有してきたおかげで、今の私は半ば札幌市民の心持ちである。ここからの二十年を、札幌、北海道と密接に関わり、その未来を拓く作業に参画したいと思う。愛海詩とこれから後はいっそう深く関わっていきたい。これが私の衷心からの思いだ。



愛海詩主宰・佐藤睦子



15代・沈壽官氏

ご縁をいただき展示することになりました沈壽官でございます。薩摩焼は四二〇年前の豊臣秀吉の朝鮮出兵に歴史の端を発します。その間、津家主導の下、ただただ薩摩の土と向き合ってきた。この度、薩摩焼の歴史の中で築かれてきた作品を皆さまにご紹介させていただきます。何卒、御覧の程お願い申し上げます。

**徳川宗家19代 徳川家広講演**  
 「北海道150年・その歴史と未来」  
 平成30年9月16日(日) 於:札幌市教育文化会館(小ホール)午後6時～午後8時 (札幌市中央区北1条西28丁目)  
 徳川家広氏講演の後、薩摩焼の重鎮15代沈壽官氏を交え、北海道と九州を結ぶ文化の歴史史などについて語ります。  
 徳川家広氏 15代 沈 壽官氏

プロフィール	経歴
1959年 生まれ	1989年 生まれ
1983年 早稲田大学 卒業	1983年 早稲田大学 卒業
1983年 イタリア国立芸術大学(CAFAMO BALLARIN) フォニクツ校 専攻科卒業	1983年 イタリア国立芸術大学(CAFAMO BALLARIN) フォニクツ校 専攻科卒業
1989年 15代 沈 壽官家名	1989年 15代 沈 壽官家名
2003年 人権団員 薩摩市議員「現代論」	2003年 人権団員 薩摩市議員「現代論」
2004年 フランス、パリ・セゾール美術展にて「現代論」展 開催	2004年 フランス、パリ・セゾール美術展にて「現代論」展 開催
2004年 大塚国際美術館 吉原邸有田焼展 開催	2004年 大塚国際美術館 吉原邸有田焼展 開催
2013年 大塚国際美術館 有田焼展 開催	2013年 大塚国際美術館 有田焼展 開催
2015年 大塚国際美術館 有田焼展 開催	2015年 大塚国際美術館 有田焼展 開催

チケット代: 2800円(自由席)  
 予約・問い合わせ: ギャラリー愛海詩・愛海詩の会事務局  
 TEL/FAX 011-613-1112  
 e-mail kouge@emishi-s.com  
 http://www.emishi-s.com  
 オープン: 11:30~18:00(休業13:00~18:00 月曜定休日)

あるのかもしれないませんが、自身のできる事を、できる範囲で、せいぜいはいじりくして来た。一路であつたように思っています。この年月の積み重ねは、愛海詩の会役員、会員を始め、お支え下さる皆様のおかげと、重ねて、感謝申し上げます。そしてまた、この記念すべき日に、徳川家広氏と十五代沈壽官氏が、「誠の華」を添えて下さったことにより、皆様にもその気韻を届けることが出来ます。これも有りがたく、嬉しいことでもあります。